



# 文部科学省における取組について

令和8年2月25日 令和7年度薬物乱用対策推進地方本部全国会議  
総合教育政策局健康教育・食育課

# 令和5年度薬物乱用防止教室開催状況

学校教育においては、小・中・高等学校を通じて、学習指導要領に基づき、体育科・保健体育科を中心に、薬物乱用防止に関する指導を行うとともに、警察職員や学校薬剤師等の外部講師を活用して、「薬物乱用防止教室」の開催に努めている。

調査対象：国公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校

調査対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

回答総数：33,455校

	調査回答校数	開催校数	開催率
全学校種	33,455	27,967	83.6% (79.6%)
小学校等	18,837	14,950	79.4% (75.5%)
中学校等	9,959	8,962	90.0% (86.0%)
高等学校等	4,659	4,055	87.0% (82.5%)

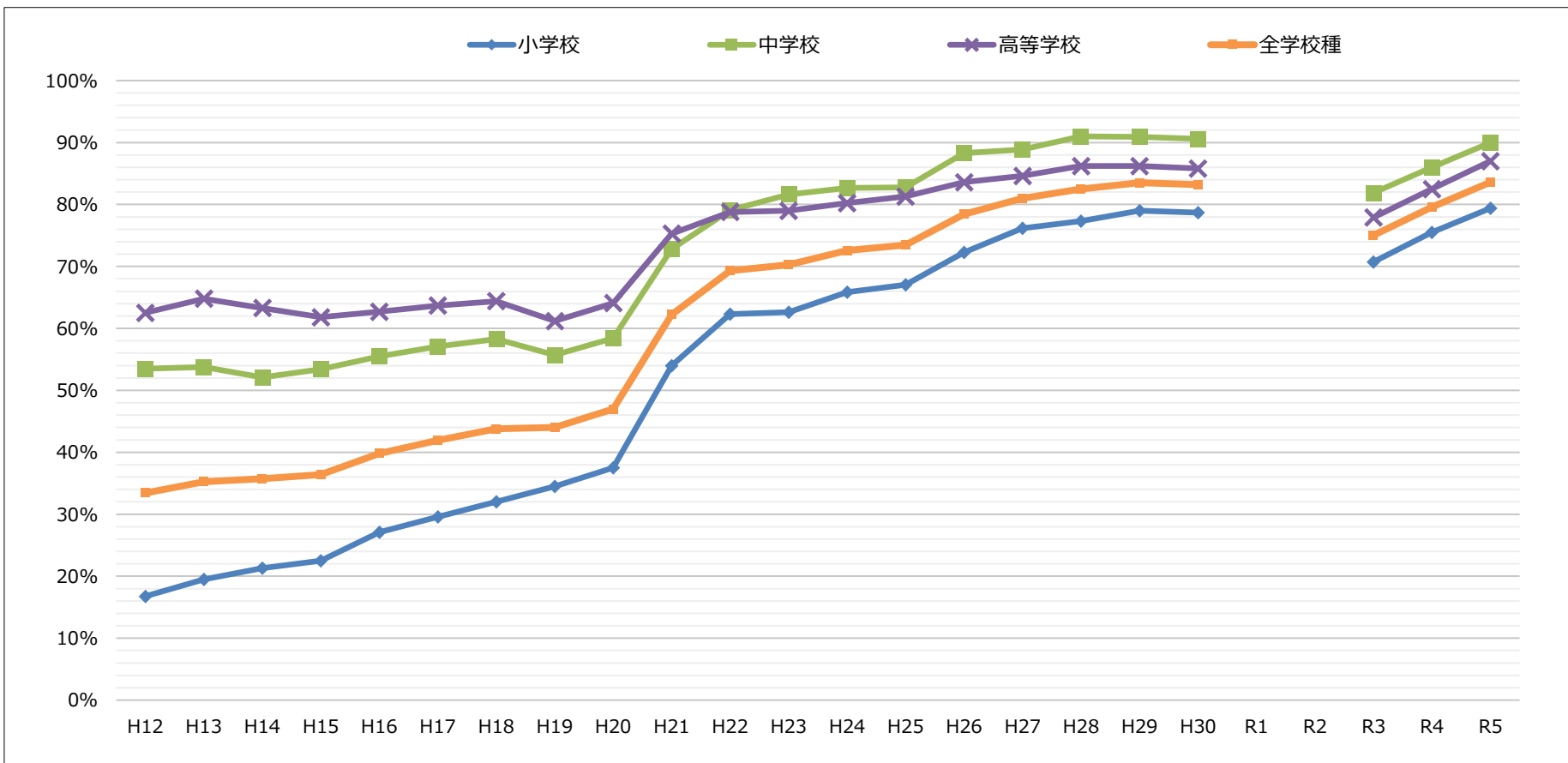
※小学校等：義務教育学校前期を含む。中学校等：義務教育学校後期及び中等教育学校前期を含む。高等学校等：中等教育学校後期を含む。

※ ( )内は前回調査（令和4年度）開催率

# 薬物乱用防止教室開催率の推移

(%)

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全学校種 ※2	33.4	35.3	35.7	36.4	39.8	41.9	43.8	44.0	47.0	62.2	69.3	70.3	72.6	73.5	78.4	81.0	82.5	83.5	83.2	-	-	75.0	79.6	83.6
小学校	16.8	19.5	21.3	22.5	27.1	29.6	32.0	34.5	37.5	54.0	62.3	62.6	65.9	67.1	72.3	76.2	77.3	79.1	78.6	-	-	70.7	75.5	79.4
中学校	53.5	53.8	52.1	53.4	55.5	57.1	58.3	55.7	58.4	72.8	79.1	81.6	82.7	82.8	88.3	88.9	91.0	91.0	90.6	-	-	82.0	86.0	90.0
高等学校	62.5	64.8	63.3	61.8	62.7	63.7	64.4	61.2	64.1	75.3	78.8	79.0	80.2	81.3	83.6	84.6	86.3	86.4	85.8	-	-	78.0	82.5	87.0



※1 平成22年度は、岩手県（公立）、宮城県（私立）、福島県（公・私立）、仙台市 は含まず。  
 ※2 「全学校種」は、小学校・中学校・高等学校・中等教育学校の数値の合計であり、平成28年度からは義務教育学校を含んで集計。  
 ※3 令和元年度、2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、開催状況調査は未実施。

# 依頼した講師の職種

(校) ※ ( )内は割合

職 種	全 体		小学校等		中学校等		高等学校等	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
警察職員	10,413	(34.3%)	4,499	(27.9%)	3,807	(38.4%)	2,107	(48.6%)
麻薬取締官	140	(0.5%)	37	(0.2%)	50	(0.5%)	53	(1.2%)
学校薬剤師等薬剤師	9,960	(32.8%)	6,560	(40.7%)	2,735	(27.6%)	665	(15.3%)
学校医等医師	485	(1.6%)	302	(1.9%)	150	(1.5%)	33	(0.8%)
矯正施設職員	289	(1.0%)	41	(0.3%)	112	(1.1%)	136	(3.1%)
保健所職員	907	(3.0%)	506	(3.1%)	286	(2.9%)	115	(2.7%)
精神保健福祉センター職員	81	(0.3%)	32	(0.2%)	31	(0.3%)	18	(0.4%)
税関職員	302	(1.0%)	70	(0.4%)	137	(1.4%)	95	(2.2%)
大学教員等	474	(1.6%)	142	(0.9%)	155	(1.6%)	177	(4.1%)
薬物乱用防止指導員(※1)	1,596	(5.3%)	897	(5.6%)	543	(5.5%)	156	(3.6%)
民間団体等構成員(※2)	2,335	(7.7%)	1,438	(8.9%)	712	(7.2%)	185	(4.3%)
造けいの深い指導的な教員(※3)	1,373	(4.5%)	646	(4.0%)	502	(5.1%)	225	(5.2%)
その他(※4)	2,039	(6.7%)	966	(6.0%)	705	(7.1%)	368	(8.5%)
合 計	30,394	(100.0%)	16,136	(100.0%)	9,925	(100.0%)	4,333	(100.0%)

※1 薬物乱用防止指導員…各都道府県に設置された薬物乱用防止のための指導員(保護司、教育関係者等)

※2 民間団体等構成員…ライオンズクラブ等の社会奉仕団体等構成員

※3 造けいの深い指導的な教員…薬物乱用防止教育等に造けいの深い指導的な教員

※4 その他…青少年補導員、社会復帰施設職員、家庭裁判所職員等

### 「薬物乱用防止教育のスライド資料集」の使用に関する手引き（令和7年3月）



#### 1. 小学校版「薬物乱用の害と健康」

### 薬物乱用の害

**シンナーを吸うと…**

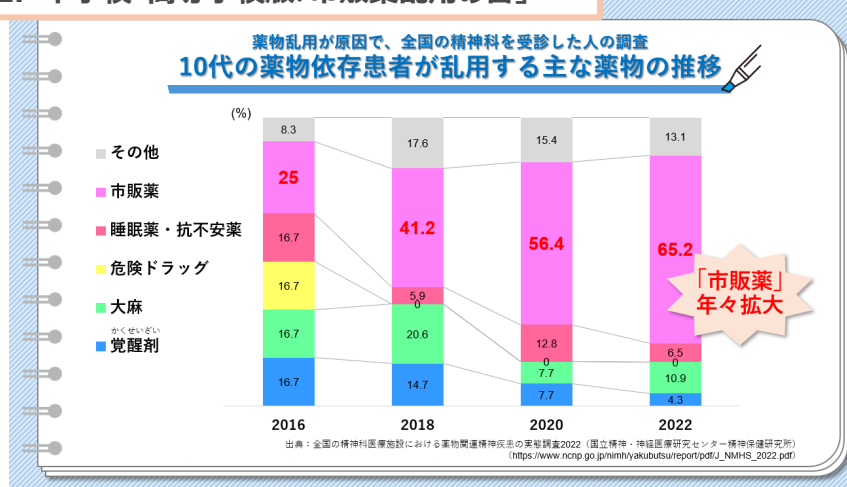
- 歯がとけてポロポロになる
- 脳が縮んで記憶したり考えたりする力が低下する
- やる気が出なくなる

**大麻を使用すると…**

- うつ病や記憶の障害を引き起こす
- 幻覚や妄想が起こることがある
- 特に成長期にある若い人の脳に影響が大きい

他にも、覚醒剤、ヘロインなど様々な薬物があり、  
1回の乱用でも死に至ることがあります

#### 2. 中学校・高等学校版「市販薬乱用の害」



### ○公益財団法人日本学校保健会と連携した研修会の開催

文部科学省補助事業として（公財）日本学校保健会と連携し、薬物乱用の背景等の理解や指導参考資料等の内容を深めることをもって、薬物乱用防止教育等の充実を図るため、「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育・教室推進研修会」を開催。

日時：令和7年 9月12日（金）香川県

令和7年10月 9日（木）和歌山県

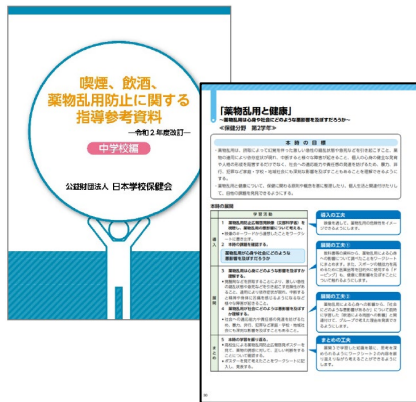
対象：管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、  
学校歯科医、学校薬剤師、教育委員会関係者 等

### ○研究協議会の開催

教職員、教育委員会関係者、学校薬剤師、学校医、学校歯科医等を対象とした「全国学校保健・安全研究大会」及び「学校環境衛生・薬事衛生研究協議会」において、薬物乱用防止教育の実践事例の発表を行い、研究協議を実施。

### 【教員・外部講師対象】

喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料  
(小学校編／中学校編／高等学校編)



薬物乱用防止教室マニュアルー令和5年度改訂ー



### 【児童生徒・学生、保護者対象】

児童生徒向けの健康教育に関する総合的な啓発教材（薬物乱用防止に関する内容を掲載）

「わたしの健康」（小学生用）

「かけがえない自分  
かけがえない健康」  
(中学生用)

「健康な生活を送るために」  
(高校生用)

大学生等を対象とした啓発資料

小学校第6学年の児童の  
保護者を対象とした啓発  
資料

